

環境マネジメントシステム 活動報告書

平成28年度



亀岡市役所



目 次

1	亀岡市役所温暖化対策基本方針	1
2	目的・目標	2
3	組織図	3
4	平成28年度 環境マネジメント調査結果	4
5	効果の確認	10
6	温室効果ガス排出量（CO2換算）	11
7	施設のエネルギー使用量について	12
8	マネジメントレビュー（温暖化対策総括者による見直し）	13
9	平成28年度の主な取組	13

亀岡市役所温暖化対策基本方針

基本理念

21世紀の地球環境には、地球温暖化や生態系の危機など多くの課題が顕在化しています。

これら地球環境問題の解決に向けて、市民、事業者、行政などすべての関係者の参加と協働のもと、地球規模で考え、地域で行動する取り組みを通じて、環境にやさしく持続可能なまちづくりを進めていくことが必要です。

亀岡市役所では、事務・事業における環境への影響に配慮し、自然と共生した持続可能な社会の実現のため、環境にやさしい取り組みを定め、地球温暖化対策を推進します。

行動指針

亀岡市は、基本理念の実現に向けて次の取り組みを推進します。

1. 市の事務・事業における温室効果ガスの総排出量を削減します。
2. 施設等におけるエネルギー（電気、燃料、熱等）の使用量を削減するとともに、電力がピークとなる季節や時間帯の電力抑制に努めます。
3. 施設の新設及び更新の際は、省エネルギー及び新エネルギー設備の導入に努め、エネルギー使用量の低減を図ります。
4. エコドライブの取り組み等を通じて、公用車及び通勤車における燃料使用量を削減します。
5. 市の事務・事業におけるごみの排出量を削減します。
6. 温暖化対策基本方針及び本システムの運用成果は、随時公表します。

平成28年 4月 1日

亀岡市長 桂川 孝裕

目的

●本システムの目的

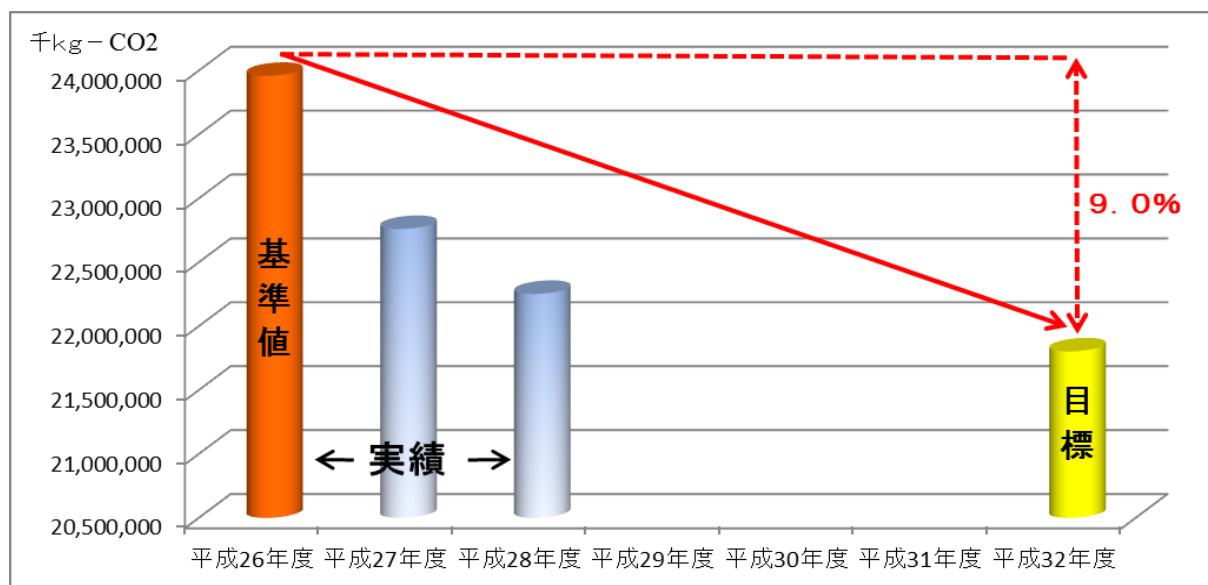
市役所の事務・事業における地球温暖化対策の推進

目標

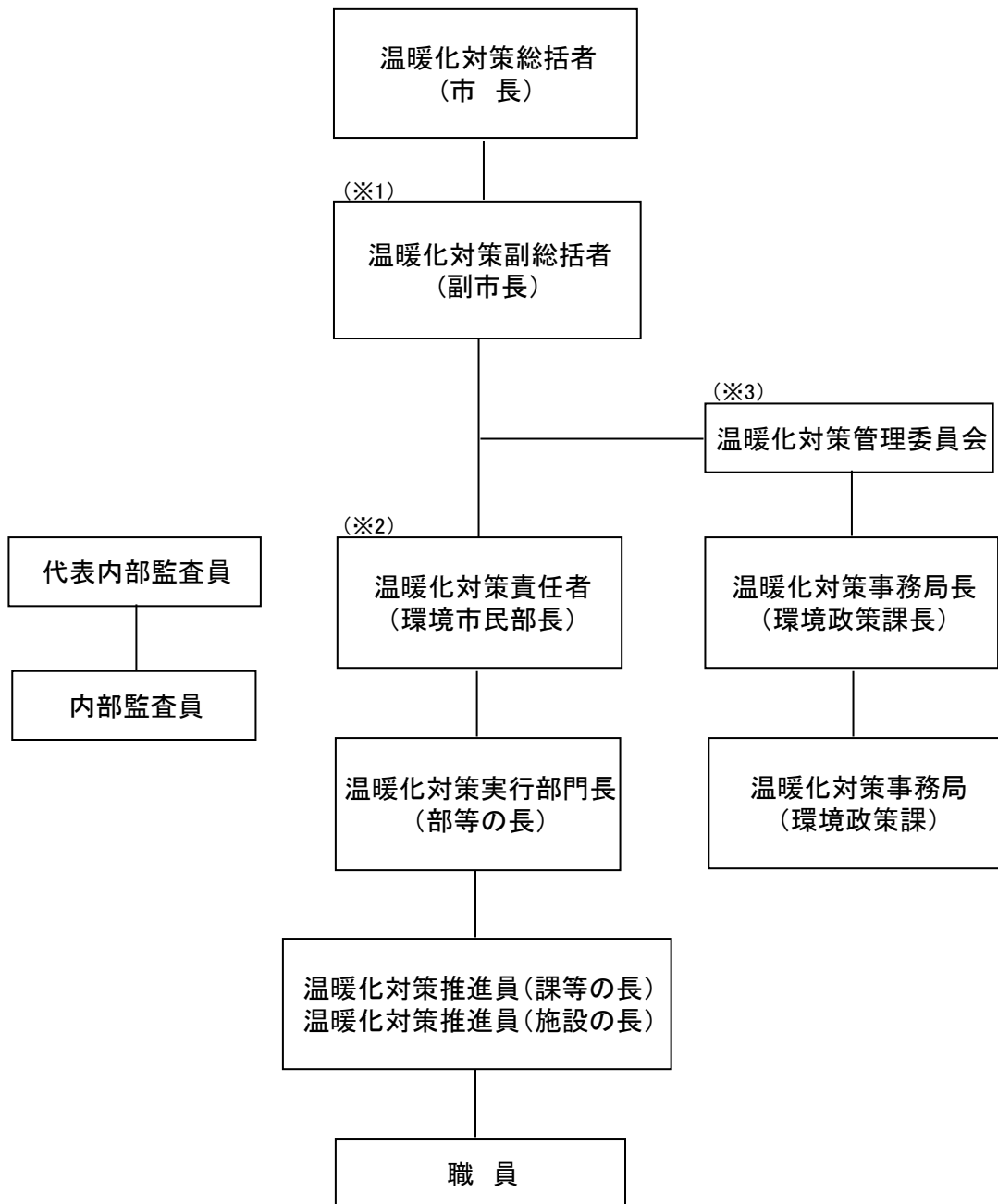
●法令に基づく目標

平成26年度を基準として平成32年度までに市の事務・事業における温室効果ガス排出量を9%削減することを目標とする。

温室効果ガス排出量 (実績と目標)



組 織 図



※ 1) 温暖化対策副総括者は、省エネ法のエネルギー管理統括者も兼ねる。

※ 2) 温暖化対策責任者は、省エネ法のエネルギー企画管理推進者も兼ねる。

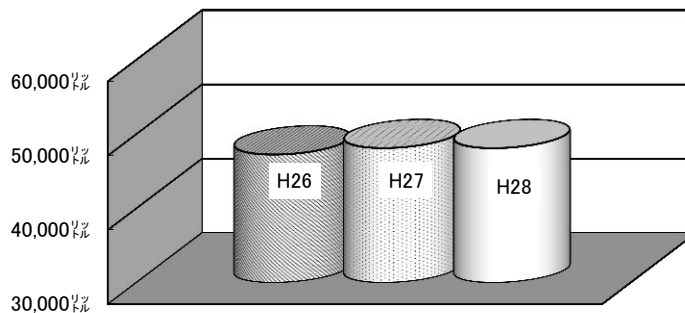
※ 3) 温暖化対策管理委員会は、亀岡市庁議等に関する規則（平成15年亀岡市規則第15号）第4条第3項に規定する庁議の構成員のうち病院事業管理者及び市立病院管理部長を除く構成員をもって構成する。

平成28年度 環境マネジメント調査結果

○ガソリン使用量

数量

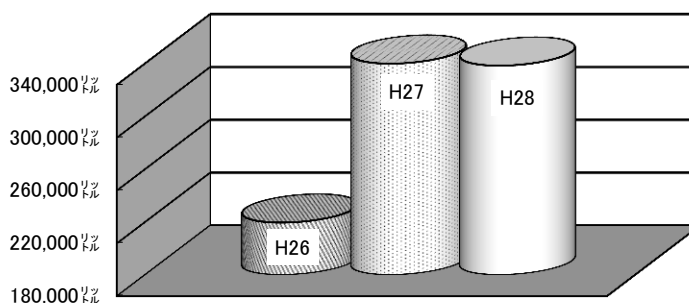
平成26年度	47,264リットル	
平成27年度	48,138リットル	(1.8%) 平成26年度対比
平成28年度	48,127リットル	(1.8%) 平成26年度対比



○灯油使用量

数量

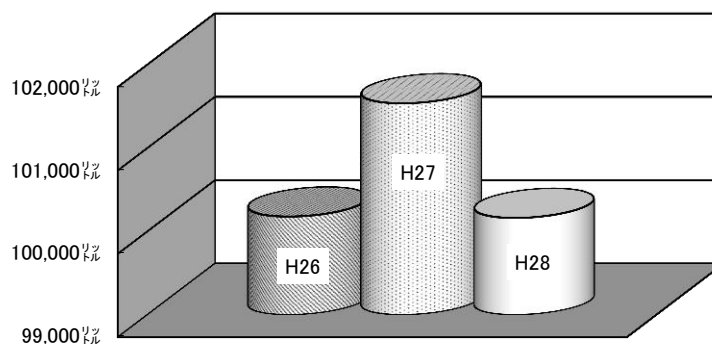
平成26年度	219,624リットル	
平成27年度	343,821リットル	(56.5%) 平成26年度対比
平成28年度	338,440リットル	(54.1%) 平成26年度対比



○軽油使用量

数量

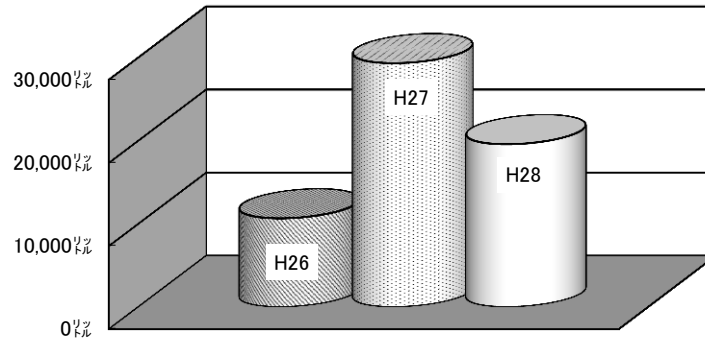
平成26年度	100,180リットル	
平成27年度	101,538リットル	(1.4%) 平成26年度対比
平成28年度	100,163リットル	(0.0%) 平成26年度対比



○OA重油使用量

数量

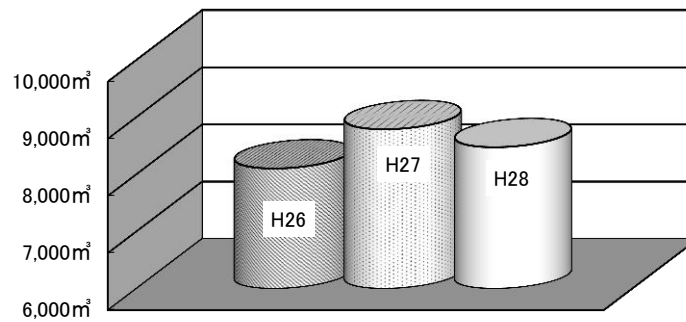
平成26年度	10,668ℓ	
平成27年度	29,338ℓ	(175.0%) 平成26年度対比
平成28年度	19,580ℓ	(83.5%) 平成26年度対比



○LPG使用量

数量

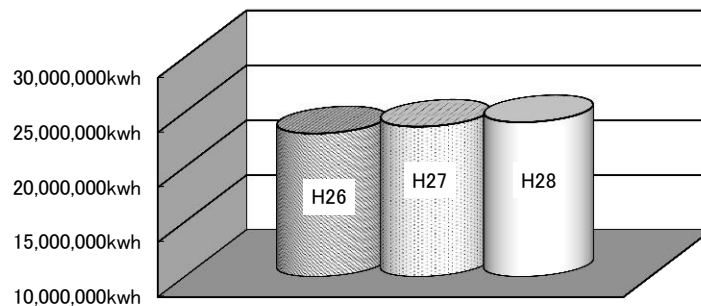
平成26年度	8,104m ³	
平成27年度	8,790m ³	(8.5%) 平成26年度対比
平成28年度	8,476m ³	(4.6%) 平成26年度対比



○電力使用量

数量

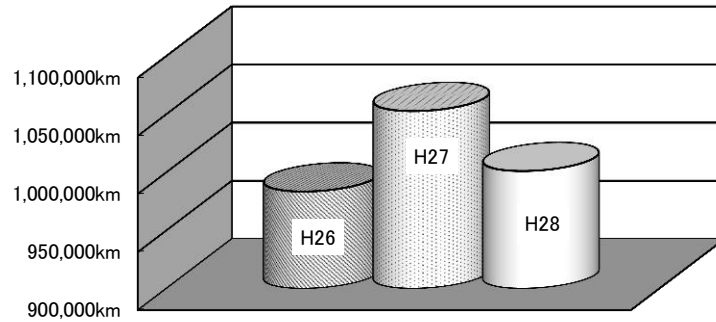
平成26年度	23,062,811kwh	
平成27年度	23,687,562kwh	(2.7%) 平成26年度対比
平成28年度	24,087,923kwh	(4.4%) 平成26年度対比



○公用車走行量

数量

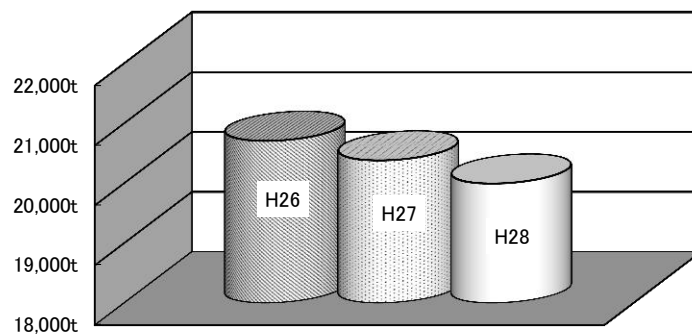
平成26年度	983,550km	
平成27年度	1,052,744km	(7.0%) 平成26年度対比
平成28年度	1,001,175km	(1.8%) 平成26年度対比



○一般廃棄物焼却量

数量

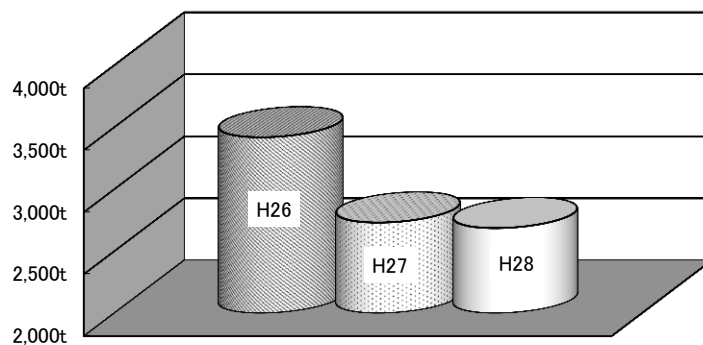
平成26年度	20,708t	
平成27年度	20,382t	(△1.6%) 平成26年度対比
平成28年度	19,996t	(△3.4%) 平成26年度対比



○廃プラスチック焼却量

数量

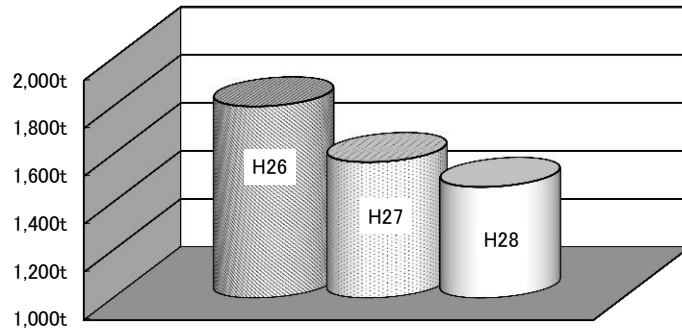
平成26年度	3,420t	
平成27年度	2,732t	(△20.1%) 平成26年度対比
平成28年度	2,687t	(△21.4%) 平成26年度対比



○廃棄物の埋立処分量

数量

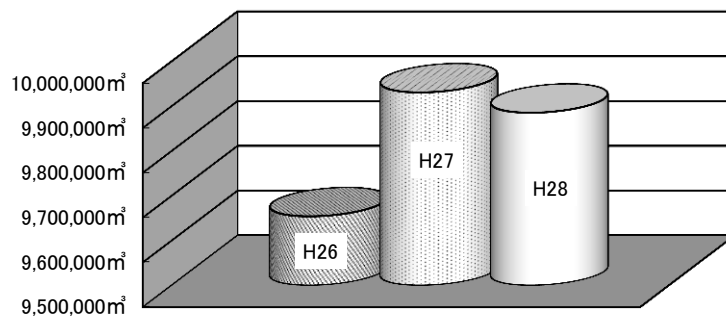
平成26年度	1,800t	
平成27年度	1,567t	(△12.9%) 平成26年度対比
平成28年度	1,464t	(△18.7%) 平成26年度対比



○下水処理量

数量

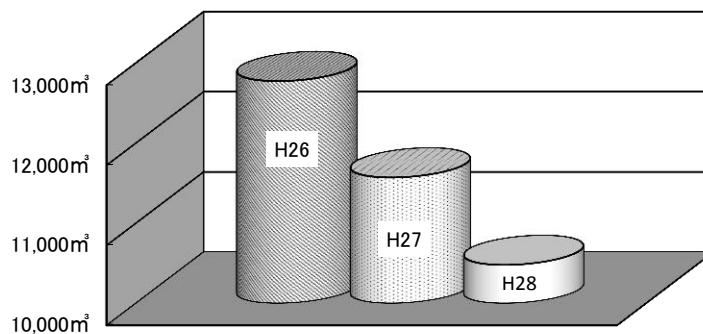
平成26年度	9,654,333m ³	
平成27年度	9,931,012m ³	(2.9%) 平成26年度対比
平成28年度	9,885,605m ³	(2.4%) 平成26年度対比



○L尿処理量

数量

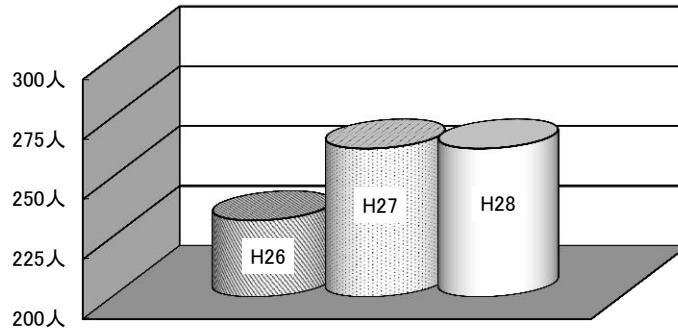
平成26年度	12,775m ³	
平成27年度	11,572m ³	(△9.4%) 平成26年度対比
平成28年度	10,480m ³	(△18.0%) 平成26年度対比



○浄化槽

数量

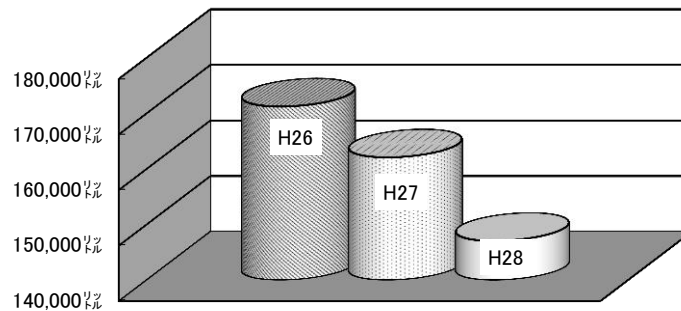
平成26年度	232人	
平成27年度	262人	(12.9%) 平成26年度対比
平成28年度	262人	(12.9%) 平成26年度対比



○職員通勤車の燃料使用量

数量

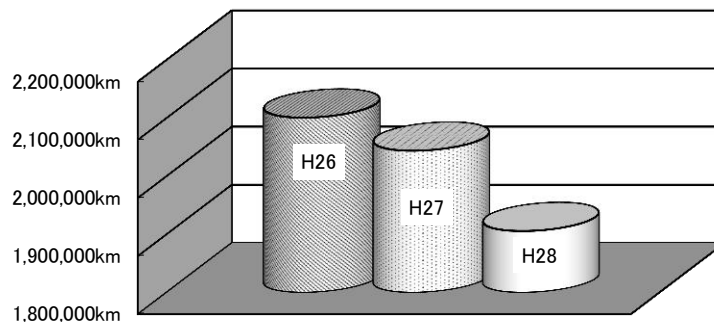
平成26年度	171,253リットル	
平成27年度	162,102リットル	(△5.3%) 平成26年度対比
平成28年度	147,067リットル	(△14.1%) 平成26年度対比



○通勤車走行量

数量

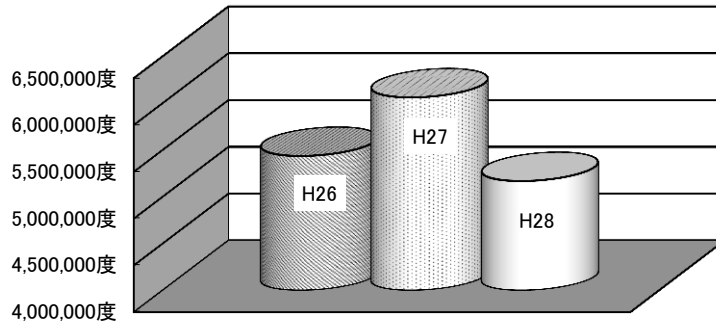
平成26年度	2,101,082km	
平成27年度	2,044,195km	(△2.7%) 平成26年度対比
平成28年度	1,905,990km	(△9.3%) 平成26年度対比



○コピー使用度数

数量

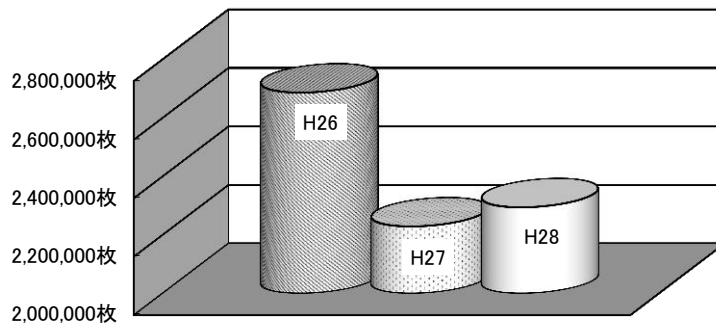
平成26年度	5,437,366度	
平成27年度	6,062,804度	(11.5%) 平成26年度対比
平成28年度	5,169,310度	(△4.9%) 平成26年度対比



○コピー用紙購入量

数量

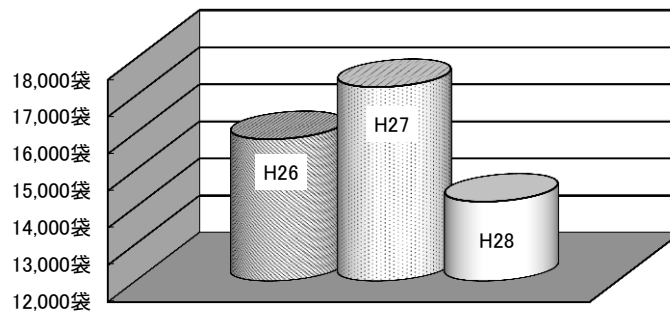
平成26年度	2,686,975枚	
平成27年度	2,229,250枚	(△17.0%) 平成26年度対比
平成28年度	2,294,600枚	(△14.6%) 平成26年度対比



○ごみ袋発生量

数量

平成26年度	15,832袋	
平成27年度	17,237袋	(8.9%) 平成26年度対比
平成28年度	14,146袋	(△10.6%) 平成26年度対比



効果の確認

環境マネジメントシステムの実施結果の一部を金額で比較した場合（参考）

区 分	単価 ①	H26	H27	H28	差引 (H26-H28) 削減できた額
		数量②	数量②	数量②	
		金額(①×②)	金額(①×②)	金額(①×②)	
ガソリン使用量		47,264 ^{リットル}	48,138 ^{リットル}	48,127 ^{リットル}	△863 ^{リットル}
	133円	6,286,125円	6,402,354円	6,400,891円	△114,766円
灯油使用量		219,624 ^{リットル}	343,821 ^{リットル}	338,440 ^{リットル}	△118,816 ^{リットル}
	85円	18,668,040円	29,224,785円	28,767,400円	△10,099,360円
軽油使用量		100,180 ^{リットル}	101,538 ^{リットル}	100,163 ^{リットル}	17 ^{リットル}
	108円	10,819,440円	10,966,104円	10,817,604円	1,836円
A重油使用量		10,668 ^{リットル}	29,338 ^{リットル}	19,580 ^{リットル}	△8,912 ^{リットル}
	80円	853,440円	2,347,040円	1,566,400円	△712,960円
通勤車の燃料使用量		171,253 ^{リットル}	162,102 ^{リットル}	147,067 ^{リットル}	24,186 ^{リットル}
	133円	22,776,649円	21,559,566円	19,559,911円	3,216,738円
計		548,989 ^{リットル}	684,937 ^{リットル}	653,377 ^{リットル}	△104,388 ^{リットル}
		59,403,694円	70,499,849円	67,112,206円	△7,708,512円

※「削減できた額」は、各欄の数量に同じ単価を乗じて算出・比較したものであり、実際にかかった経費を比較したものではありません。

燃料の単価は平成29年5月の契約単価で積算しています。

「通勤車の燃料使用量」欄の単価は「ガソリン使用量」欄の単価を用いています。

温室効果ガス排出量（CO2換算）

※平成26年度を基準に平成32年度までに温室効果ガスの総排出量を9.0%削減する目標を設定

区分	単位	年度	数量	H27/H26 H28/H26	CO2排出量 (kg)	H27/H26 H28/H26	構成比	
燃料使用量	ガソリン	ℓ	H26	47,264		109,653		0.5%
		H27	48,138	1.8%	111,680	1.8%	0.5%	
		H28	48,127	1.8%	111,655	1.8%	0.5%	
	灯油	ℓ	H26	219,624		546,864		2.3%
		H27	343,821	56.5%	856,114	56.5%	3.8%	
		H28	338,440	54.1%	842,716	54.1%	3.8%	
	軽油	ℓ	H26	100,180		258,464		1.1%
		H27	101,538	1.4%	261,968	1.4%	1.2%	
		H28	100,163	△0.0%	258,421	△0.0%	1.2%	
	A重油	ℓ	H26	10,668		28,910		0.1%
		H27	29,338	175.0%	79,506	175.0%	0.3%	
		H28	19,580	83.5%	53,062	83.5%	0.2%	
LPG	m ³	H26	8,104		48,381		0.2%	
		H27	8,790	8.5%	52,477	8.5%	0.2%	
		H28	8,476	4.6%	50,604	4.6%	0.2%	
電力使用量	kwh	H26	23,062,811		12,246,354		51.1%	
		H27	23,687,562	2.7%	12,578,096	2.7%	55.3%	
		H28	24,087,923	4.4%	12,260,753	0.1%	55.1%	
公用車走行量	km	H26	983,550		7,037		0.03%	
		H27	1,052,744	7.0%	7,481	6.3%	0.03%	
		H28	1,001,175	1.8%	7,119	1.2%	0.03%	
一般廃棄物焼却量	t	H26	20,708		350,393		1.5%	
		H27	20,382	△1.6%	344,878	△1.6%	1.5%	
		H28	19,996	△3.4%	338,335	△3.4%	1.5%	
一般廃棄物中の 廃プラスチック量	t	H26	3,420		9,456,300		39.5%	
		H27	2,732	△20.1%	7,553,980	△20.1%	33.2%	
		H28	2,687	△21.4%	7,429,555	△21.4%	33.4%	
廃棄物の埋立処分量	t	H26	1,800		213,125		0.9%	
		H27	1,567	△12.9%	202,625	△4.9%	0.9%	
		H28	1,464	△18.7%	193,100	△9.4%	0.9%	
下水処理量 (終末処理場)	m ³	H26	9,654,333		672,714		2.8%	
		H27	9,931,012	2.9%	691,993	2.9%	3.0%	
		H28	9,885,605	2.4%	688,829	2.4%	3.1%	
し尿処理量 (し尿処理施設)	m ³	H26	12,775		15,677		0.1%	
		H27	11,572	△9.4%	14,201	△9.4%	0.1%	
		H28	10,480	△18.0%	12,861	△18.0%	0.1%	
浄化槽	人	H26	232		5,012		0.0%	
		H27	262	12.9%	5,660	12.9%	0.0%	
		H28	262	12.9%	5,660	12.9%	0.0%	
合計		H26			23,958,884		100.0%	
	H27				22,760,659	△5.0%	100.0%	
	H28				22,252,668	△7.1%	100.0%	

施設のエネルギー使用量について

部・室名	平成27年度	平成28年度	増減理由
政策推進室	29kℓ	0kℓ	—
生涯学習部	718kℓ	773kℓ	ガレリア内イベント増加による電力使用料の増加や交流会館のボイラーの経年劣化による燃費効率の悪化等によりエネルギー使用量が増加しています
総務部	477kℓ	638kℓ	連日猛暑により空調機器を作動させる時間が長く続いたことから電力使用量が増加し、エネルギー使用量が増加しています
環境市民部	1,287kℓ	1,286kℓ	ほぼ前年度並みとなっています
健康福祉部	169kℓ	191kℓ	事業に伴う会議等やエアコンの増加により電力使用量が増加し、エネルギー使用量が増加しています
産業観光部	266kℓ	255kℓ	と畜場開場日を3日から2日に集約することで、電力使用量が減少し、エネルギー使用量が減少しています
まちづくり推進部	242kℓ	228kℓ	公園施設等の利用件数減少により、エネルギー使用量が減少しています
土木建築部	0kℓ	24kℓ	今年度から新設された部のため、昨年の数値はありませんが、駅前自転車等駐車場の数値はほぼ前年度並みとなっています
上下水道部	3,490kℓ	3,299kℓ	浄水場の漏水調査の実施により漏水量が減少し、送水量が減少したことに伴い電力使用量も減少し、エネルギー使用量が減少しています
合計	6,678kℓ	6,694kℓ	16kℓ

- ※ エネルギー使用量を原油換算（kℓ）にして表記しています。
- ※ 施設を有する部等のみ対象としています。
- ※ 指定管理施設も調査対象としています。
- ※ 教育部・市立病院は省エネ法で別サイトとなりますので表示していません。

マネジメントレビュー（温暖化対策総括者による見直し）

●平成28年度マネジメントレビュー（平成29年3月21日）

1 環境方針

環境方針については、変更なし。

2 環境目的・目標

パリ協定後の地球温暖化対の動向を踏まえて、必要に応じて現行方針に基づき、亀岡市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の見直しを行うこと。

3 環境に関する組織

現行の体制で運用を図ること。ただし、現状に合わせた変更及び機構改革に伴う所要の整備を行うこと。

4 システムに関する要素

システムに関する要素については、変更なし。

5 その他

内部監査において、是正処置書の提出を伴う指摘事項はなく、システムの運用状況は概ね良好となっている。

今後も引き続き、「亀岡市地球温暖化対策実行計画」及び省エネ法の「中長期計画」に基づき、地球温暖化対策に重点をおいたシステムの運用を図ること。

平成28年度の主な取組

年 月	内 容
平成28年4月	亀岡市役所温暖化対策環境マネジメントマニュアルを発行（4／1）
平成28年5月	平成28年度 温暖化対策管理委員会を開催（5／30）
平成28年12月	環境マネジメント上半期分の報告（12／21）
平成29年2月	内部監査の実施（2／3～2／21）
平成29年5月	平成29年度 温暖化対策管理委員会を開催（5／29）